

科目名	科目種別	授業番号		時期	曜日	時限	単位数
		博士前期	博士後期				
博士人材の研究インターンシップ	大学院 全学共通科目	W0510(2 単位) W0511(1 単位)	W0610(2 単位) W0611(1 単位)	集中 (随時)	—	—	2又は1
担当教員	備考						
特任教授 可知 直毅、各教員	単位数は、実際の実習期間により1単位とすることがある。						
①授業方針・テーマ	博士後期課程在学中もしくは博士後期課程への進学を検討している大学院生を主な対象とした、民間企業における中長期のインターンシップである。企業における実践的な研究開発の現場において、これまで培った研究能力やスキルを実践・応用するとともに、マネジメント力やコミュニケーション力など、多様な場で活躍するための汎用力を高めることを目的とする。これにより今後の研究活動の幅を広げるとともに、キャリアパスの一つとして、民間の研究開発職について現実感を持って考える契機とする。なお、本科目は就職を目的としたインターンシップではない。						
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業における研究開発の手法、価値観、行動様式等、大学での研究との違いを理解する。 ・自己の研究における新たな発想・視点・探求を促すとともに、研究と社会との関わりや研究の意味について広い視野から考える。 ・研究者に必要とされるコミュニケーション力、計画管理能力、積極性、異分野協働の姿勢等を身に付ける。 						
③授業計画・内容 授業方法	<p>本学が加盟している研究インターンシップ実施のためのコンソーシアム 一般社団法人 産学協働イノベーション人材育成協議会 (C-ENGINE) に参加する企業約 35 社のうち、希望学生との間で実習テーマや実習条件等のマッチングが成立した企業において実施する。実習期間は原則として 2 カ月程度である。</p> <p>文系・理系に関わらず専攻分野は問わないが、企業の受入学生の専門分野は多い順に、機械、数物系、電気・電子、化学、情報、生物系、その他工学、医薬系、環境学、建築系である (本協議会加盟 17 大学 2020 年度実績)。自己の研究テーマと完全に合致する実習内容でなくても可能であり、実習内容や期間等は本学マッチングコーディネーターのフォローのもと学生が希望する企業と主体的に調整することとなる (諸条件の調整には柔軟に対応する企業が多い)。また、本科目の履修登録は教務課 (1 号館 1 階) において行う。</p> <p>【実習先企業 (2021 年 2 月 22 日時点での 2021 年度の予定)】</p> <p>川崎重工業株式会社、キャノンメディカルシステムズ株式会社、京セラ株式会社、コニカミノルタ株式会社、シスメックス株式会社、株式会社島津製作所、清水建設株式会社、住友電気工業株式会社、住友電装株式会社、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社ダイセル、大日本印刷株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社タダノ、一般財団法人電力中央研究所、東レ株式会社、凸版印刷株式会社、株式会社巴川製紙所、日東電工株式会社、日本板硝子株式会社、株式会社日本触媒、日本ゼオン株式会社、日本電信電話株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、パナソニック株式会社、日立金属株式会社、富士フイルム株式会社、株式会社堀場製作所、三菱重工業株式会社、三菱電機株式会社、株式会社村田製作所、株式会社リコー、ロート製薬株式会社、ローム株式会社</p>						
④授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先企業の事業概要を事前に把握しておくこと。また、実習に必要な専門理論や専門スキルを事前に学修していることが求められる。 ・実習にあたっては、社会人としての基本的なマナーを守ること。必要な場合には学生サポートセンターキャリア支援課へ相談すること。 						
⑤テキスト・参考書等	特になし。						
⑥成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習計画書、成果報告書及び企業からの評価報告書等により総合的に評価する。 ・評価は評点ではなく、合格/不合格により判定する。 						
⑦質問受付方法 (オフィスアワー等)	<p>インターンシップの申込みはキャリア支援課で行い、履修登録は教務課で行う。企業での実習テーマは「IDM システム」(企業と申込者とのマッチングを行うシステム) に掲載されているため、興味がある者は「IDM システム」のアカウント申請を行い、閲覧することができる (申請方法はキャリア支援課ホームページ「博士後期課程専用キャリア支援情報」のサイトで確認すること。なお、このサイトは博士前期課程の学生も閲覧可能です)。実習テーマは変更できる場合が多いので、実習先として希望する企業があれば、速やかに (実習開始予定の概ね 2 カ月前までを目途に)、コーディネーター教員 (本科目担当教員 可知) へ連絡すること (相談・質問のみも可)。連絡を受けた後、企業との調整を行います。コーディネーターへの連絡、その他質問についてはコーディネーター、キャリア支援課、教務課 (いずれも南大沢 C) の共通アドレス (c-engine@tmu.ac.jp) にて受け付ける。</p>						
⑧特記事項	<ol style="list-style-type: none"> (1) インターンシップの実施に当たっては事前に指導教員の承諾を得ること。 (2) 定期健康診断を必ず受診しておくこと。 (3) 学生教育研究災害傷害保険 (学研災) などの傷害保険及び賠償責任保険に必ず加入すること。 (4) 事前の実習計画書、事後の成果報告書等を提出すること。 (5) 実習修了後、成果報告会等が開催される場合には報告を行うこと。 (6) 本科目により修得した単位は、課程修了単位に含めることはできない。 						